

【問 1】 $\frac{7}{25}$ と $\frac{9}{27}$ と比べると、 $\frac{7}{25}$ の方が大きい。

【×】 $\frac{9}{27} = \frac{7+2}{25+2}$ となることを確認し、 $\frac{7}{25}$ と $\frac{2}{2}$ を比較する。

$\frac{7}{25}$ より大きな $\frac{2}{2}$ を加えたから、 $\frac{9}{27}$ は $\frac{7}{25}$ より大きくなっている。

(野球の打率を考えましょう。25 打数 7 安打の選手が、2 打数 2 安打すると・・・)

【問 2】 $\frac{117}{313}$ と $\frac{123}{333}$ と比べると、 $\frac{123}{333}$ の方が大きい。

【×】 $\frac{123}{333} = \frac{117+6}{313+20}$ となることを確認し、 $\frac{117}{313}$ と $\frac{6}{20}$ を比較する。

小数点に直す $\frac{6}{20}$ は 0.3 であることはすぐに分かるでしょう。では $\frac{117}{313}$ はどうするか。

分母を 0.3 倍すると 117 より多きいか小さいかを判断する。分母の 0.3 倍は約 90 であり、117 には満たない。ということは、元の値より小さな値を加えたことになり小さくなっている。

【問 3】 電機店で買い物をするとき、20%のポイント還元と現金 15%割引では、ポイント還元の方がお得。

【×】 10,000 円の買い物で比較する。

	ポイント20%				現金15%引き		
	購入	支払	ポイント	累計	支払	累計	比較
1回目	10,000	10,000	2,000	10,000	8,500	8,500	1,500
2回目	10,000	8,000	1,600	18,000	8,500	17,000	1,000
3回目	10,000	8,400	1,680	26,400	8,500	25,500	900
4回目	10,000	8,320	1,664	34,720	8,500	34,000	720
5回目	10,000	8,336	1,667	43,056	8,500	42,500	556
6回目	10,000	8,333	1,667	51,389	8,500	51,000	389
7回目	10,000	8,333	1,667	59,722	8,500	59,500	222
8回目	10,000	8,333	1,667	68,056	8,500	68,000	56
9回目	10,000	8,333	1,667	76,389	8,500	76,500	-111
10回目	10,000	8,333	1,667	84,722	8,500	85,000	-278

9回目になって初めてポイントの方が得となる。目先の利益を求めることもあり 朝三暮四？

こんなに同じ値段の物を買うこともないでしょうし、いつまでこのサービスがあるかも分かりません。

※ 数的の勉強時間の平均は 5.3 時間 毎日 1 時間程度やっている計算です。